

弥栄中図書館だより

発行日 平成 28 年 12 月

学校図書館司書 横山貴子

全校総合で学んだ今…もっと学びを深めるために！

◇「同和問題」についての本を読んで考えてみよう

◎ 「いのちの食べかた」 森達也著（理論社）

「昨日の夕食は何だった？…想像してみよう。（中略）…もしもあらゆる肉が料理に使えなかつたら…」（本文より）

生きている牛や豚とスーパーに並ぶパックの「あいだ」に何があるのか。日本の食肉文化・歴史から実は見えてくる同和問題。いまある世界各地の差別問題のほとんどが宗教や民族、性差などの「違い」が理由であるのに対し、日本の「部落差別」は「場所」、すなわち「道一本を隔てただけで、こちら側はあちら側を差別する。」（P78 より）と著者はいう。

この本を読んでなぜ日本に被差別部落が生まれたのか、そして今も続いているのかを知りましょう。この問題に対する自分なりの考えが浮かんでくるはずです。



◎ 「知っていますか？同和教育」一問一答 森実著（解放出版社）

より深く「同和問題」について知りたい人や、部落差別を中心にあらゆる差別をなくすことを目指すために何をどう学んでいくかを考えたい人はこの本をどうぞ。

*館内にはありませんが…

◎ 「太郎が恋をする頃までには…」 栗原美和子著（幻冬舎）

テレビキャスターの著者が体験した結婚差別を描いた小説

◎ 「破壊」 島崎藤村著 被差別部落に生まれた教員の生涯を描いた小説

☆「人権」についての新しい本が入りました！

◎ 「人権読本」 鎌田 慧著（岩波ジュニア新書）

◎ 「人権で世界を変える 30 の方法」 ヒューマンライツ・ナウ編（合同出版）

◎ 100 年インタビュー 緒方貞子「共に生きるということ」（PHP）

国連や JICA で難民の救済や復興支援に携わった緒方貞子さんにとって「共存」とは？

◎ 「あん」 ドリアン助川著（ポプラ社）

元ハンセン病患者の高齢の女性と中年のどらやき店主の心の交流を描く

◎ 「ぼくが 5 歳の子ども兵士だったとき 内戦のコンゴで」

ジェシカ・ディー・ハンフリーーズ、ミシェル・チクワニネ著（汐文社）

著者のミシェル・チクワニネさんの実話が絵本に。世界には現在約 25 万人もの「子ども兵士」がいるとされるが、私たちにできることは？



*他にも様々なテーマで幅広く考えられる本がそろいました。冬休みにぜひ！